



アルプス区長
百瀬陽子さん

女性区長誕生のきっかけ
区長として12年目となる百瀬さん。区の役員に就いたきっかけは、当時の区長さんからの声掛けでした。アルプス区は、もともと区の役員も女性が多いこともあり、区長になった時も「抵抗はなかった」そうです。女性区長として、気負うことなく「できる人がやればよい」と穏やかに話します。

個性を生かしながら 「できる人がやる」

SDGsの5つ目の目標は「ジェンダー平等を実現しよう」。性別を問わないリーダーシップの確保など女性の活躍推進を目指しています。安曇野市の女性区長・アルプス区の百瀬陽子さんに、地域活動の中でのジェンダーについてお聞きしました。



豊科南小学校 「根っこをのばす」

環境保全や自然保護もSDGsの大きなテーマです。豊科南小学校では、ビオトープの整備や拾ヶ堰の美化など、SDGsを意識した活動を学習に取り入れています。SDGsの取組を通して、教育目標の学び、心、元気の「根っこ」ものばしています。



心の「根っこ」をのばそう グリーンアドベンチャー!

梅雨の晴れ間となった6月24日。豊科南小学校に、児童の大きな歓声が響き渡りました。校舎周辺の自然に触れることで、環境を考えるきっかけとするためのスタンプラリー「グリーンアドベンチャー」の開催です。全校児童が高学年と低学年の二人一組に分かれ、校庭や百石堰、ふるさとの森(学校のビオトープ)に隠されたクイズに挑戦。クイズの内容は、学校の木や小川に住んでいる生き物の名前などで、大人でも難しい問題を、白色帽子の高学年の児童がペアの下級生を上手にリードし、協力して解いていきました。



グリーンアドベンチャーの準備や当日の運営を務めた今野莉愛さんは「クイズの内容を考えたり、準備は大変だったけれど、楽しく開催できた」と笑顔で話してくれました。

特性を生かして

女性区長として良かった点を尋ねると、「母親目線!」ときっぱり。区の災害が心配だった時、子どもに目を向けられたのは、「母親目線があったからでは」と話します。地域住民からは「子どものことを考えてくれている」といった声があり、自分の特性が生かされ、受け入れてもらいやすい点にもつながったと感じています。

お互いを認め合う

「これから人口も減少してくるので、性別にこだわっていられなくなるのでは」。性別にとらわれることなく、その人の得意なことを生かせば良いし、子どもがいる人はその経験を生かせばいい。他に積み上げた経験があれば、そのらしさを生かせばいい」と百瀬さん。「男女の特性はある程度存在すると思えますが、お互いに認め合い、人それぞれの違いも強みとして生かせば」と力強く語ってくれました。

ジェンダーとは

生物学的な性別に対し、社会的・文化的につくられる性別。「男らしさ」「女らしさ」とイメージされる性別。

もっと知りたいSDGs! 中央図書館でミニ展示



安曇野市図書館ではこのほど、市内5つの図書館で「SDGsって何だろう」展を開催しました。中央図書館(みらい内)では、SDGsの入門書のほか、「気候変動から世界をまもる30の方法」(国際環境NGO FoE Japan/編 合同出版)や「マイノリティ問題から考える社会学・入門」(西原和久、杉本学/編 有斐閣)など、17の目標に関連した図書を展示。また、絵本コーナーでは児童向けの絵本約200冊を展示しました。普段はあまり手に取られない本も、カラフルな目標のしおりを挟むなど、興味のあるテーマが見つかりやすくなるよう工夫が施されました。今後も中央図書館で、17の目標に沿った展示を月替わりで紹介していきます。7月は「安全な水とトイレを世界中に」、8月は「働きがいも経済成長も」です。各課題の理解を深めることや、子どもの夏休みの研究テーマにもおすすめです。



まずはこの一冊! 『SDGsのきほん』シリーズ

稲葉茂勝/作 ポプラ社
17の目標を、ひとつひとつ1冊かけて紹介しているシリーズ本。やさしい言葉で説明しているので大人も子どもも読みやすい一冊です。

カラフルに彩られたしおり



図書館司書がテーマに沿った本を選定



私たちにできること。 SDGs発表会

6年生は、SDGsの17の目標から、一人一人、好きな目標を選んで、世界が抱える課題とその解決策、そして、自分たちにもできることを研究しています。6月25日、6年2組では10人の児童が研究成果を発表。自然災害

また、同校では、SDGsの目標「海の豊かさを守ろう」にもつながる取り組みとして、環境大臣賞も受賞した「拾ヶ堰クリーン大作戦」も20年に渡り行っています。安曇野市には海はありませんが、遠くの地域のためにもなる活動です。こうした体験は、SDGsの達成につながるだけでなく、身近な自然の大切さを知り、環境を守る活動を考えるきっかけとなります。

むむむ



や飢餓などの課題に対し、解決策として募金やリサイクル、食品ロスの削減などのアイデアが出されました。SDGsの目標「貧困をなくそう」をテーマに取り組んだ降旗健司くんは、世界には、日々わずかなお金で暮らしている人がたくさんいることを説明し、解決策の一つとして「大人になったら、医療の手助けをすることも大切では」とクラスメートと議論を深めました。これからの安曇野、地球の未来を担う子どもたち。SDGsを通じて、人や環境を思いやる心が育まれています。